

さかき

No.160

令和3年1月31日

議会だより

2021年 謹賀新年

坂城郵便局元旦出発式

(関連記事 11 ページ)



11月臨時会・12月定例会

- 新生児応援臨時特別給付金2ページ
- ここが聞きたい!一般質問 13名4ページ
- 議会業務継続計画策定 11ページ

万円を減額補正 金事業を予算化

第3回臨時会

第4回定例会

第4回定例会 (12月)

◆一般会計補正予算 (第12号)
補正額 1億3,037万円

歳入の主な内容

法人町民税現年課税分	▲2,500万円
ふるさと寄附金	7,000万円
財政調整基金繰入金	7,451万円

歳出の主な内容

ふるさとまちづくり基金積立金	7,000万円
ふるさと納税事業に係る返礼品などの経費	4,200万円
町道の除雪に係る経費	1,150万円
実施を見送った事業に係る経費	▲1,673万円

新型コロナウイルス感染症予防対策として

学校、保育園、給食センター等 感染予防対策用品購入	737万円
学校体育館等洗面台自動水栓化工事	199万円
新生児応援臨時特別給付金事業	702万円

第3回臨時会 (11月)

◆一般会計補正予算 (第10号) 専決
補正額 5,187万円

歳入の主な内容

ふるさと寄附金	3,000万円
財政調整基金からの繰入金	2,037万円

歳出の主な内容

ふるさとまちづくり基金積立金	3,000万円
ふるさと納税事業に係る返礼品などの経費	1,800万円

◆一般会計補正予算 (第11号)
補正額 ▲311万円

歳入の内容

財政調整基金繰入金	▲311万円
-----------	--------

歳出の内容

議員報酬、特別職期末手当、 一般職期末手当など	▲311万円
----------------------------	--------

11月30日の臨時会では条例改正及び補正予算を原案のとおり可決した。また、第4回定例会は12月1日に開会され、条例の制定及び補正予算などを可決したほか、陳情に伴う意見書の提出も可決し、14日に閉会した。なお、一般質問は13人が登壇した。(詳細4〜10ページ掲載)

新生児応援臨時特別給付金
国の特別定額給付金の対象にならなかった、令和2年4月28日から令和3年4月1日までに生まれた新生児を応援するため、1人10万円を支給する。



令和2年6月15日に生まれました！

第3回臨時会

条例改正

◆特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部改正
◆一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
◆議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
長野県人事委員会勧告及び県の特別職の期末手当引下げ等を踏まえ、期末手当の年間支給月数を0・05ヵ月引き下げ、令和2年12月から適用するもの。

第4回定例会

条例制定など

◆坂城町議会が議決すべき事件に関する条例の制定
長期総合計画の中心をなす基本構想の策定・変更等について、議会の議決すべき事件とするため条例を制定する。
◆坂城町国民健康保険税条例の一部改正
年金・給与所得の被保険者が、令和3年1月1日から施行される、個人所得課税の見直しにより生ずる税負担について、収入額に変化がない場合において、これまでと同様の軽減措置が受けられるもの。
◆坂城町地域経済牽引事業の促進のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部改正



元旦祭（酒玉神社）

法人町民税 2,500 新生児応援臨時特別給付

◆坂城町公の施設の指定管理者の指定について

指定管理者による管理運営を行っている町内15施設について、令和3年3月31日をもって指定の期間が満了することから、令和3年4月1日からのこれらの施設に係る指定管理者を指定する。

問 指定管理者による管理運営を行っている施設の中で、公民館として使用されている施設がある。使用にあたり費用面はどうなっているのか。

答 区等に対し、使用料の徴収や委託料の支払いは行っていない。修繕等は地域の中で対応されているが、大規模なものには町公民館の補助金を活用してもらっている。泉区集会所は、県営住宅町横尾団地のコミュニティを兼ねているので、必要に応じて、県、町、地元区で按分して修繕を行っている。

■ 今後、公共施設個別施設計画の中でどう取り扱うのか。払下げなどについてどう考えているか。

答 策定中の計画では、各区と調整するなかで、譲渡していくことも考えていきたい。

なお、泉区集会所については、建設時から県、町、地元区の三者で費用負担しているので、今後もこの形で継続していく。

審議結果

1 賛否が分かれた議案……なし

2 全会一致で可決された議案

(1) 専決処分

- ① 一般会計補正予算（第10号）
- ② 和解及び損害賠償額の決定 2件

(2) 条例等

- ① 特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部改正
- ② 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
- ③ 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
- ④ 議会が議決すべき事件に関する条例の制定
- ⑤ 国民健康保険税条例の一部改正
- ⑥ 地域経済牽引事業の促進のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部改正
- ⑦ 公の施設の指定管理者の指定

(3) 令和2年度補正予算

- ① 一般会計（第11号）
- ② 一般会計（第12号）
- ③ 国民健康保険特別会計（第3号）
- ④ 下水道事業特別会計（第3号）
- ⑤ 下水道事業特別会計（第4号）
- ⑥ 介護保険特別会計（第3号）
- ⑦ 後期高齢者医療特別会計（第2号）

(4) 意見書

- ① 安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書
- ② 防災・減災、国土強靱化等に向けた社会資本整備の促進を求める意見書

3 全会一致で否決された議案……なし

4 陳情審査結果

件名	提出者	付託常任委員会	審査結果
安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守ることに	地域医療と公立・公的病院を守る 長野県連絡会 長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林 吟子 他7団体	社会文教	採択 意見書提出

ここが聞きたい！ 一般質問

(一般質問の文章は、質問者の責任で作成しています)

質問項目

滝沢 幸映 議員 4ページ

- ① デジタル時代の対応について
- ② 地域の環境問題について

吉川 まゆみ 議員 5ページ

- ① 学校給食の食物アレルギー対応食実施について
- ② 保育園の利用について
- ③ 死亡後の手続きワンストップ化について

中嶋 登 議員 5ページ

- ① 子ども3ワクチンについて
- ② 新工業団地について

塩野入 猛 議員 6ページ

- ① 計画行政について
- ② 農業振興について

朝倉 国勝 議員 6ページ

- ① R3年度の予算編成について
- ② 長期総合計画の推進

祢津 明子 議員 7ページ

- ① 今後の子育て支援について
- ② 今後の介護・医療について

大日向 進也 議員 7ページ

- ① 地域交通について
- ② 不法投棄について

山城 峻一 議員 8ページ

- ① 性の多様性について
- ② コロナ禍における町の施策について

玉川 清史 議員 8ページ

- ① 障害者福祉について
- ② 生活保護について
- ③ コロナ対策について
- ④ 除雪について

小宮山 定彦 議員 9ページ

- ① 一般廃棄物(ごみ)について
- ② (仮称)長野広域連合B焼却施設について

栗田 隆 議員 9ページ

- ① ワクチン接種について
- ② 教育について
- ③ ゴミ収集について
- ④ 安全運転機器への補助について

中島 新一 議員 10ページ

- ① 新型コロナの対応について
- ② 大雪対策について

大森 茂彦 議員 10ページ

- ① 来年度予算の編成方針は
- ② 魅力ある保育行政へ
- ③ 循環バス運行の見直しを

デジタル化

町行政での推進は

利便性と効率化を目指す



滝沢 幸映 議員

問

コロナ禍の時代、さらに行政のデジタル化の推進が求められる。町民の利便性向上と行政の効率化に向けた取り組みは、

町長 国においてはデジタル化推進にDX(デジタル変革)を進め、デジタル庁を創設すると発表。町

も大変重要なテーマと認識している。これまで情報通信技術を活用した取り

問

町ホームページリニューアルの内容は、

企画政策課長 トップ

ページのデザインを一新

し、町の見所や四季折々の風景などの画像を動的

に表示し、町の魅力を視覚的に伝えるデザインを

検討している。また、今後は動画による情報提供も積極的に活用していく。

地域猫問題は

近隣自治体では、行政の補助で地域猫活動が定着してきている。当町でも猫に対する不妊・去

勢手術の補助を望む。

住民環境課長 県の取り組みについても注視しながら研究していく。



本年度中にリニューアルされる町HP

学校給食

アレルギー対応食は

外部委託について検討中



吉川 まゆみ 議員

問 今の食育・学校給食センターの施設では、アレルギー対応食の調理

は難しいと聞いている。一昨年の答弁では「施設面では難しいが、その中でどういう対応ができるか、検討を進めていく」とあったが、その後の検討状況は。教育文化課長 現状において他の手法で安全なア



楽しい給食の時間

レルギー対応食の提供ができないかといったことを踏まえ、外部委託での対応を検討。東北信地域の給食提供者に、対応の可否を含め相談し、検討を進めている状況である。

問 外部委託の実現に向け、何社に当たり、その感触についてはどうか。

教育文化課長 北信5社東信9社に相談。献立の内容により作る数量もその日により変わり、必要数も少数のため、外部委託の条件としては難しい状況である。引き続きアレルギー対応食の提供について研究していく。

お悔やみコーナー設置は

問 遺族が行う手続きが一か所のできるコーナーの設置を。

住民環境課長 既に住民環境課窓口でワンストップ窓口として対応している。ご遺族の不安解消のため死亡後の手続き一覧表に「住民係の窓口にお声がけください」と表示することとした。

子宮頸がんワクチンは

希望者には接種可能

3ワクチン



中嶋 登 議員

88%である。一方、子宮頸がんワクチンは、平成23年度305名86%をピークに、令和元年度は3名0.8%である。副反応発生があり積極的な勧奨は行っていない。

問 先進国アメリカ、イギリス、フランスなどは80%を超えている。特に20代〜30代の若い女性の

がんで、子宮頸がんは第1位となっている。毎年1万人以上の女性が新たに子宮頸がんになり約3千人が亡くなっている。子宮頸がんワクチン接種に町も積極的に取り組むべきである。

町長 私も中嶋議員と同じ意見であり、国は7年間もほったらかしている。積極的な勧奨はしないようにと言われれば町は従わざるをえない。ワクチンの効果とリスクについて正しい情報を提供していく。



長野県細胞検査士会発行



塩野入 猛 議員

各種計画の体系化を

わかりやすい形にしたい

計画行政

問 今年度は、長期総合計画を始め各種計画策定が目白押しで、既にある計画も含めると相当数になりそうです。それらを体系化してわかりやすくしたい。策定された総合計画は、町民にどのような周知するのか。

町長 総合計画は最上位

計画であり、各分野の個別計画について総合計画で関連が見て取れる形に工夫したい。各種計画の体系化についても、わかりやすい形に整えたいと考えている。

農業振興について

企画政策課長 総合計画は、町ホームページに掲載すると共に、主な公共施設にも用意したい。また、さかきふれあい大学の出前講座のメニューに載せ、依頼があれば内容説明をしたい。



「特色ある地域農業」を目指して

問 農業の現状からの問題点や課題は何か。「特色ある地域農業」が推進されようとしているが、どのように農業振興を図っていくのか。

商工農林課長 全国的な課題として高齢化、担い手不足のほか、価格低下、規模縮小、耕作放棄地の増加が挙げられる。新規就農者支援、営農相談、現地指導などの方策により、農業支援センターの協力のもとに農業の情勢変化への対応に努めたい。

来年度予算

経済回復のできる予算を

補助金等の活用を図る

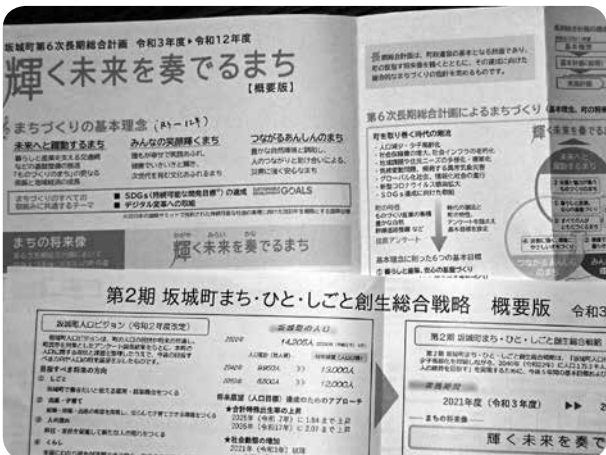


朝倉 国勝 議員

問 コロナ禍による経済への影響は大変厳しく、令和3年度予算編成に当たっては、平時と違い国・県・市町村のリーダーシップにより早期の景気回復につながる役割を担っている。財源は大変厳しい中、メリハリのあつた積極型予算編成を希望するが町の考えは。

総務課長 新型コロナウイルスの感染拡大により、経済への影響は大変大きく、自主財源の確保は例年に比べ極めて厳しい見通しである。しかし、住民ニーズに沿った公共サービスを提供するた

め、国、県の動向を十分注視し、補助金等の活用を図る中で対応していきたい。また、重点施策については、坂城町第6次長期総合計画、第2期坂城町まち・ひと・しごと創生総合戦略、坂城町公共施設個別施設計画がスタートする年でもあり、それぞれの計画の取り組むべき施策の優先順位をつけ展開をしていきたい。現在、具体的な施策については、次年度の事業の組み立てや予算要求を行う段階であり、事業内容等の精査・調整を図る中で重点施策を3月議会でお示ししていく。限られた財源の中で効率的、効果的な施策ができる予算編成としたい。



各種重要計画策定中

町立保育園

特色ある取り組みは

各園の特徴を活かしていく



赤津 明子 議員

問 町の保育目標は。

子育て支援室長 町の日
指す保育園の姿は、「子ども一人ひとりを大切に

し、保護者とともに、地域に根ざした保育園」を掲げ、「友達と本気で遊べる子ども」「友達を大切にし、思いやりのある子ども」「最後まで頑張れる子ども」の3つを保育目標としている。

問 町独自の取り組みは。子育て支援室長 経済的



坂城の子は坂城で育てる

支援に加え、幼・保・小・中・高の連携を図り、個々が必要とする様々な支援を行う体制を整え、インクルーシブ教育を推進している。

問 町立保育園に特色を。

子育て支援室長 南条保
育園は、園生活の中で異年齢の園児同士の関わりを大切にし、自らの気づきや優しい心を育む保育をしている。

坂城保育園は、近くの公共施設を活用した園外活動のほか、坂城高校生徒と楽しく交流している。

村上保育園は、びんぐの里公園を利用し、自然や季節を感じ、遊びの中から探求心や好奇心を育む保育をしている。

3園共通の特色としては、外国語指導講師が各園を毎週訪問し、英語に親しみ学ぶ時間を定期的・継続的に実施している。

デマンド交通導入を

利用対象者を把握する

地域交通



大日向 進也 議員

型交通なども視野に入れ新しい地域公共交通システム導入について検討を行っている。それを踏まえて運行形態、受付システム、コストなど様々な面について、町内の地域公共交通事業者と何度か話し合いの場を設けている。

また、新しい地域公共交通システムの利用対象者についても、どの様な方を対象とするのか検討する必要がある、日頃から町内での移動に困っている高齢者や、運転免許返納者の

日常での移動形態等を把握する必要があると考えている。

その上で、そのシステム構築に向けた検証をより大きい枠組みで進めるため、町内の交通事業者に地域交通利用促進協議会に新たに加入してもらった。

令和3年度には町内の地域公共交通事業者の運行するタクシーに乗りした町民の年齢、行先、利用頻度等の聞き取りを行い、検討を行っていく予定である。

問 昨年12月議会の町長答弁の中で、「デマンド

を取り入れた手法も考えられ新たな運行業者との対話を持った」とあったが、どの様な業者と話をし、この一年でどう検討したのか。

町長 昨年度から、循環バスと併用したデマンド



官民連携の電気バス（東御市）

性の多様性

町の相談窓口の現状は

心配ごと相談などがある



山城 峻一 議員

を受け付けている。

問 性の多様性、性的マイノリティーへの理解を深めるための今後の取り組みは。

町長 LGBTを含め、広く人権について、学校では「人権の花運動」に

問 性的マイノリティー（LGBT）の当事者の相談できる窓口の現状は。

町長 町の相談できる窓口として、定期的に開催している心配ごと相談、法律相談において、LGBTを含む人権問題の相談を受け付けている。

また、隣保館内の人権・男女共生係で相談の内容を聞いた上、必要に応じてより専門的に対応できる相談窓口を案内している。

そのほかに、法務局や人権啓発センターにおいて窓口、電話による相談



多様な性について考えよう！

取り組んでいる。また「人権を尊重し、豊かな福祉の心を育む町民集会」などの機会を通し、意識の向上に努めている。

企業が多い坂城町として、企業人権同和教育推進協議会と連携し新入社員人権同和研修会を開催している。また、企業内人権同和推進員を育成する研修会を開催し、企業内の意識啓発につなげている。今後も機会を捉え継続的に実施したい。



玉川 清史 議員

精神科入院への助成を

研究課題としたい

障害者福祉

問 障がいのある人の介護者は90%以上が家族だという調査がある。重度の障がいのある人の介護と同様に、精神障がいのある人の介護をしている家族は、一日中目を離せず、仕事も十分にできない。特に国民年金が主な収入である介護者の場合

は、さらに経済的に厳しい状況にある。

町の福祉医療制度では精神障害者福祉手帳を交付されている方や、自立支援医療（通院）受給者について、精神科入院は給付対象となっていない。

隣自治体もあって、町でも対象に出来ないか。

福祉健康課長 町では県の助成対象範囲よりも拡充して、精神障害者保健福祉手帳1級から3級の交付者と精神通院自立支援医療受給者に対し、

福祉健康課

Health and Welfare Division

福祉健康課

Seção de Saúde e Bem Estar

気軽に相談してください

所得要件無しで精神科入院を除く入院と全診療科通院に給付をしている。県内では、制限付きで精神科入院を給付対象としているのは36市町村あり、入院自体を対象外としている市町村は40ある。

今年度策定の障害者計画の策定委員会でも、精神科入院への給付適用の意見があるので、町の財政状況や制度の持続可能性も考慮して、他自治体の実施方法も参考に今後の研究課題としたい。

一般廃棄物

リサイクル率の向上策は

資源物の分別促進を強化



ごみ発電施設を備えたB焼却施設が
今年10月に試験運転開始予定



小宮山 定彦 議員

問 本年度は第4次「一般廃棄物処理基本計画」の最終年度に当たる。この5年間に於ける一般廃棄物（ごみ）の総排出量の推移は。また、1人1日当たりのごみの排出量の推移と県全体の中での位置は。

住民環境課長 総排出量は28年度、29年度と減少

傾向だったが、30年度から微増している。1人1日当たりのごみ排出量も同様の傾向で、県全体では多い順から16番ないし17番目である。

問 事業所の多い当町にあって、総排出量が多いのはやむを得ない。ただしリサイクル率が県下の他市町村と比べ極めて低い実態がある。その理由をどう考えるか、リサイクル率向上のための方策は。

住民環境課長 平成30年度の当町のリサイクル率は77市町村中76位。

また、長野広域連合管内においては令和元年度、缶・びんに関しては平均だが、ペットボトル、プラスチック製容器包装、紙類の回収量が少ない。可燃ごみに混ざっている」と推察される。今後は、今年10月から試験運転が始まるB焼却施設（千曲市）への移行を、資源物やごみの出し方に関心が高まる機会と捉え、地域や事業所に積極的に案内していく。

ゴミ収集

立ち会いの法的根拠は

適正な分別収集に協力を



栗田 隆 議員

問 ポリオ（小児麻痺）や天然痘のような人類にとって大変恐ろしい病気もワクチンによってほぼ根絶された。このようにワクチンは大きな恩恵を人類にもたらしてきた。

しかしその反面ワクチン自体が病気を引き起こし死に至らしめる場合も皆無ではない。2009年に流行した新型インフルエンザの際には、ワクチン接種の副作用と思われる死者は133人に上った。接種の呼びかけには慎重を期すべきと思うが、町長 ワクチン接種の案内においては効果と副作用を含めた丁寧な説明をしていく。

問 法治国家においては人に労役、金銭的負担等を課す場合には法的根拠

が必要である。レジ袋有料化には法的根拠はないので私はおかしいと以前言った。同様に分別収集における「立ち会い」においてはいかなる法的根拠があるのか。

住民環境課長 「立ち会い」については、容器包装リサイクル法「消費者は適正な分別排出に協力する」とされているので、町は消費者としての住民に「立ち会い」をお願いしている。



燃やしても資源

大雪対策

除雪体制の強化を

建設業者と協力体制構築



中島 新一 議員

問 町の除雪体制は。また、建設業者以外の企業との連携協力の考えは。建設課長 町道の除雪作業を行う目安は概ね10cmの積雪があった場合とし、通勤・通学に支障が出ないよう午前7時までに終了できるように行っている。町内の建設業4



平成26年 大雪の際の除雪作業

社は大型重機8台を保有しており、町と委託契約を結んでいる。さらに、平成26年の大雪の経験を踏まえ、他に重機を持っている10社に協力を依頼している。

また、管理者が異なる道路の除雪作業が一体的にできるよう千曲建設事務所と緊急時における相互除雪協定を結んでいる。除雪や融雪剤の散布については、行政協力委員会、建設業者以外の企業と協力を依頼した。建設業者以外の企業との協力体制の中で重機等

を借り受けることが考えられるが、運転手の確保や保険加入等、精査する課題があるので必要に応じて判断する。

新型コロナウイルスの対応

問 対策本部の対応と事業所への支援は。

町長 これまで22回対策会議を開催、今後も適時適切な情報発信と注意喚起を呼び掛けていく。商工農林課長 情報収集をしながら早期に景気回復できるよう継続した支援に努める。



大森 茂彦 議員



0歳児保育室の増設が待たれる坂城保育園

問 保育園のクラス担任は正規職員で当たるべきと考えるが、正規職員と会計年度職員の人数は。子ども支援室長 3園合計で、正規職員が21人、会計年度任用職員が11人。3歳以上は正規職員を配置し、会計年度任用職員の担当する3歳未満児

は、同じ年齢の複数クラスを1つの保育室で行っており、必ず正規職員が在室する中で適正な指示のもと保育がなされている。坂城保育園でも0歳児保育の実施を。子ども支援室長 来年度の希望者はいない。最近

保育行政

クラス担任は正規職員で

3歳以上は正規職員

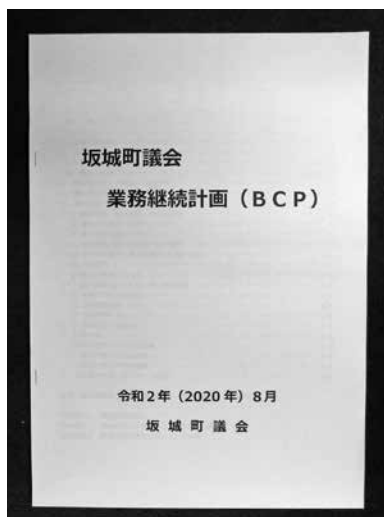
では29年度に1人のみ。施設的な課題もある。

問 園児の副食費の全額助成はできないか。子ども支援室長 国が示す負担額(月)より300円安い4200円を保護者が負担している。在宅の保育でも生じる費用もあり、公平性から厳しい状況。今後、副食費の軽減等の経済的支援について研究していく。

循環バスは半周運行に

問 現在の運行を半周運行にすると時間が短縮されるので、順路を増やしバス停の新設もできる。建設課長 より利便性の高い循環バスになるよう、新たな公共交通システムの構築の中で検討する。

坂城町議会業務継続計画（BCP）を策定



昨年8月、町議会では坂城町議会業務継続計画を策定しました。

この計画は、大規模災害などの非常事態発生時において災害対応を行うため、迅速で適切な初動体制（行動基準、連絡手段の確保、指揮命令系統）など、予め必要な事項を定めておくことにより、議会機能の早期回復と災害被害の拡大防止を図ることを目的とするものです。

今後、この計画の実効性を高めるため、この計画の内容を検証していくとともに、定期的に防災訓練を実施していく予定です。

議場の録音・音響設備更新

老朽化していた議場の録音・音響設備を更新し、令和2年第3回臨時会（11月30日開催）から新たな機器での運用がスタートしました。あわせて（株）上田ケーブルビジョンにより、同社所有の放送機器も更新されましたので、第4回定例会（12月）から議会一般質問の様様を鮮明な映像とクリアな音質でご自宅などのテレビを通してご覧いただけるようになりました。



55インチ液晶モニター



タッチ式議会中継システム

表紙



表紙の写真は、年賀状の配達を行う坂城郵便局の元旦出発式です。

1月1日午前7時、前日からの雪がうっすらと積り氷点下の寒空の中、郵便局長の号令のもと11名の配達員の皆さんが年賀状などを配達するためバイク（一部地域は軽四輪車）で出発しました。

今年の元旦には、町内の約5,700箇所へ約115,000通が配達されました。

（写真・文 大日向進也）

インフラ整備と災害復旧

総務産業常任委員会



千曲川堤防護岸復旧工事（金井右岸）

昨年10月20日（火）総務産業常任委員会は、閉会中調査として、台風19号千曲川堤防災復旧現場、新工業団地建設予定地、A09号・インター先線工事現場等の調査を行った。

千曲川河川事務所、町建設課、商工農林課の説明を受け、現地視察をした。千曲川堤防護岸工事は、金井右岸・鼠右岸・

網掛左岸において仮復旧から本工事へと進んでいる。法面は大型ブロックで、河川部は根固めブロックと巨石水制工の組み合わせで強靱化が図られ、令和2年度中の完成予定である。

また、上五明地区の農地4・14haの災害現場は令和2年4月までに復旧工事が終了し、農作物の栽培が行われていた。

新工業団地造成事業は、3・6haの造成地区画道路や上下水道、調整池などの計画が進められている。

インター先線工事は昨年、しなの鉄道跨線橋架設工事が終了した。工業団地への物流と利便性向上のためのA09号線整備も進められており、早期の完成が待たれる。

（中島 新一）

町の歴史と地理を学ぶ

社会文教常任委員会



教育にかける心意気（格致学校）

昨年11月4日（水）社会文教常任委員会は、閉会中調査として当町の歴史・地理的位置を概観するべく左記の3施設を訪れた。

- (一)文化財センター（石器・縄文〜室町時代）
- (二)坂本宿ふるさと歴史館（戦国〜江戸時代）
- (三)格致学校歴史民俗資料館（明治時代）

整理の行き届いた文化財センターの埋蔵物から、現在より遙に温暖であった石器時代から縄文時代にかけて和平でも人びとの暮らしがあったことが知られる。展示の中では全国的に特異な環状祭祀遺跡「青木下遺跡」が

出色であった。ふるさと歴史館では、この地を求めて死闘を繰り広げた甲斐武田氏と越後上杉氏、そのはざまに奮闘した村上氏。正に兵どもが夢の跡を見ることができ。時は下って江戸期の参勤交代では加賀百万石の数千の隊伍が坂本宿に到着すると無事を知らせる早飛脚が国元へと送られたという。遊郭街が権堂に次ぐ繁盛を見たのも頷ける。ここにある事蹟は日本海と江戸表を結ぶ回廊を扼する当町の特異な位置を物語っている。

文明開化を今に伝えるものは信州では「洋風校舎」である。代表的なものは、松本開智学校、佐久中込学校そして坂城格致学校がある。格致学校が異彩を放っているのは擬洋風建築三点セット（取っ付けた様な塔、バルコニー、そして車寄せ）が一切無いことである。代わりにアーチ形に空いた玄関には武家屋敷様式の式台が見える。往時の人々と棟梁の教育にかける心意気が伝わってくる。

（栗田 隆）

鉄の展示館周辺整備

坂城駅周辺活性化特別委員会



町が取得した鉄の展示館の西側隣接地を視察

坂城駅周辺活性化特別委員会は、昨年12月23日（水）10月に町が取得した土地及び建物を担当課立会いのもと視察を行った。場所は、鉄の展示館西側に位置し、敷地面積は1390・21㎡である。

坂城駅周辺は、旧北国街道の宿場町として繁栄し現在もその面影を残す建造物などが残っており、歴史・文化・商業の交流の場としてまちづく

りの重要な役割を担っている。また、鉄の展示館をはじめ、坂木宿ふるさと歴史館、全国からファンが集まる169系電車等が周遊できる。

取得した土地の活用については、「鐵のほそ道」を中核とした町の特産品や食事の提供が行える場所、町民まつり「坂城どんどん」、坂城駅周辺で行われる「坂城葡萄酒祭」等イベント会場としての利用のほか、周辺に公園・緑地といった場所が少ないため、避難場所・防災機能を兼ねた憩いの場所などが考えられる。今後、整備を進めていくにあたり町が主体となり「株式会社まちづくり坂城」や「町商工会」「地元区」と活用方法を検討していくわけであるが、町民が望むもの、近隣の住民が納得できる利活用を町と共に考えていきたい。

（大日向 進也）

議 会 日 誌 (主なもの)

- 10月
- 17・16・20日 議会報編集委員会
 - 2日 上田地域広域連合議会代表者会
 - 5日 町表彰者選考委員会／千曲衛生施設組合議会定例会
 - 7日 新国道上田篠ノ井間建設促進要望活動
 - 8日 六ヶ郷用水組合議会定例会
 - 9日 千曲坂城消防組合議会定例会
 - 12日 まちひとしごと創生総合戦略検証委員会
 - 20日 議会全員協議会／総務産業常任委員会閉会中の調査
 - 21・23日 上田地域広域連合議会定例会
 - 24日 名誉町民称号贈与式、町表彰式
 - 26日 町例月現金出納検査／町総合計画審議会
 - 27日 長野県町村議会議長会第31回定期総会
 - 28日 町育樹祭
 - 29日 葛尾組合議会定例会
 - 30日 7期成同盟会道路整備促進期成同盟会長野県要望活動／議会運営委員会

- 11月
- 4日 社会文教常任委員会閉会中の調査
 - 5日 地域医療と公立公的病院を守る長野県連絡会陳情来庁／六ヶ郷用水組合議会定例会
 - 6日 町土地開発公社視察研修／長野広域連合議会運営委員会
 - 13日 公共施設等総合管理計画策定委員会
 - 16日 長野広域連合議会定例会
 - 19日 議会運営委員会
 - 20日 議会全員協議会
 - 24日 上田法人会坂城支部要望来庁／議会運営委員会
 - 25日 町例月現金出納検査
 - 26日 町障害福祉計画等策定委員会／町土地開発公社理事会／男女共同参画計画策定懇話会
 - 29日 議長杯並びに塚田杯囲碁大会
 - 30日 定期事務監査報告／議会臨時会

- 12月
- 1・14日 12月議会定例会
 - 1・17・24日 議会報編集委員会
 - 5日 人権を尊重し豊かな福祉の心を育む町民集会
 - 9日 更埴地域シルバー人材センター要望来庁／坂城駅周辺活性化特別委員会／議会運営委員会
 - 11日 さかきテクノセンター運営委員会
 - 14日 議会運営委員会／議会全員協議会
 - 15日 町介護保険運営協議会
 - 18日 (株)まちづくり坂城定時株主総会／町国民健康保険運営協議会
 - 22日 町健康づくり計画等策定委員会
 - 23日 坂城駅周辺活性化特別委員会
 - 25日 町例月現金出納検査

あすなろたち

心・技・体を鍛える

自主性・自己責任・向上心 ～スポーツ少年団ドッジボール部～

小学校でやったドッジボールといえば逃げる事が主流だったと思いますが、競技では自チームが攻撃をする為にボールを取ります。試合は12人制と10人制があり、低学年と高学年に分かれたチーム編成がされます。

一試合は5分間。

内野のレシーバーは向かってくるボールに全員で取りにゆき、アタッカーは仲間が作ってくれたチャンスが無駄にしないよう、外野とのパスを繰り返しながらアタックをします。一球一球が仲間との支え合いによって繋がられているのです。

普段の練習では

鬼ごっこやリレーなど遊びを交えることで、子ども達が楽しみながら基礎体力や運動能力の向上をしています。また、怪我をしない為にモストレッチをします。ブリッジしたまま歩くなど方法も様々で、色々な動きが出来る体作



りもしています。

ドッジは小学校までの競技ではありませんが、その後のどの競技に移行しても、ここで育まれた基礎は他のどのスポーツでも活かされています。

ドッジを通し子ども達は様々な経験をし、学びます。指導者を中心とした親子の学びの場所として日々頑張っています。

(スポーツ少年団)

ドッジボール部

保護者会長 山辺 宝子(たがよ)

余光

2021年、新しい年が始まった。

昨年は、始まりから終わりまで新型コロナウイルス感染症に翻弄された年となった。この感染症がなければ、様々な行事が例年通り行われていた。また、本来ならば1964年以来の2回目の東京オリンピックも開催され、今頃はその余韻に浸っていたかもしれない。

しかし、今も世界中がウイルスという非常に小さな存在に翻弄され続けている。

このウイルスに対するワクチン開発も世界各国で進められ、海外ではワクチンの接種も始まっている。今後は、日本においてもワクチン接種の具体的なスケジュールが発表される予定であり、今後の動向を注視していきたい。

(山城 峻二)

発行責任者 議長 西沢 悦子
議会報編集委員会

委員長 小宮山定彦
副委員長 山城 峻一
委員 玉川 清史
栗田 隆
大日向進也